



概要



(注) 2022年以降の Cisco Spaces リリースノートについては、『[Release Notes for Cisco Spaces](#)』を参照してください。

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces ライセンスパッケージ \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces : 製品の機能 \(4 ページ\)](#)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存のワイヤレスに加え、Internet of Things (IoT) および Bluetooth Low Energy (BLE) インフラストラクチャを活用して、Cisco Spaces に組み込まれたアプリケーションを通じて実用的な知見を提供し、ビジネスの成果を促進する強力なロケーションサービスプラットフォームです。

この知見には次のものが含まれます。

- **位置分析**：時間や位置によるロケーションデータのスライスとダイスを行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now**：物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数（Wi-Fiに接続されているデバイスで識別）、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供します。**Right Now** レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを1人の訪問者に属するものとしてカウントできます。また、**Right Now** アプリは、お客様のロケーションに配置されたカメラ、およびこれらのカメラが Cisco Spaces クラウドに接続されているかどうかに基づいて、レポートを提供します。
- **ビジネスインサイト**：人々がお客様の物理ロケーションに訪れる頻度と、それらのロケーションに滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。

- **影響分析**：ネットワークに接続しているユーザーの行動に対する、特定の場所でのイベント、キャンペーン、レイアウト変更の影響を測定する機能を提供します。Cisco Spaces アプリケーションを使用して簡単に**イベント**を作成し、次の項目に基づいてその影響を測定できます。
 - 特定の場所でユーザーが費やした時間
 - イベントの**発生前**、**発生後**、**発生中**など、特定のタイムラインでの頻度

Cisco Spaces アプリケーションには、**キャプティブポータル**、**ロケーションペルソナ**、**エンゲージメント**など、カスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、お客様の物理ロケーションに顧客がいるときにリアルタイムで顧客とつながることができます。その他のアプリケーションとして、**アセットトラッキング**アプリ、IoT サービス (BLE) を管理および設定するためのサービスマネージャ、さらにはこのデータを抽出して他のエンタープライズシステムとの関連付けまたは統合を行うためのオープン API フレームワークもあります。

Cisco Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーやインテリジェンスを通じて各種のサービスを利用できる単一のダッシュボードインターフェイスを備えています。また、Cisco Spaces では、お客様の物理的なビジネスロケーションへの訪問者をつなぎ、関係を深めることもできます。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業界で使用できます。Cisco Spaces のアセットトラッキングアプリケーションは、お客様施設内の資産を監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco Spaces には、これらの知見をアクションに変えるためのさまざまなツールキット、アプリケーション、およびAPIが用意されています。

Cisco Spaces では、パートナープログラムを通じて、さまざまな業種にわたるさまざまなパートナーアプリケーションにアクセスできます。

Cisco Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

記載のサービスに加えて、Cisco Spaces のアプリは、COVID-19 のパンデミックによって増大したビジネス要件に対応できるように強化されています。COVID-19 に伴い重要性が増した特定の要件を満たすために、拡張機能が既存のアプリケーションに組み込まれており、新しいアプリケーションが追加されています。**影響分析**、**位置分析**、**行動メトリクス**、**Right Now** などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネスロケーションに対する COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、特定の場所のデバイス密度に基づくルールを作成し、その場所の人数が特定の数または密度 (エリアあたりの人数) を超えた場合に自動的に通知を受けられるようになりました。また、**位置分析**アプリでは、組織内の同僚とエグゼクティブサマリーレポートを共有することもできます。さらに、**行動メトリクス**アプリを使用して、個人またはグループのロケーションに関する COVID-19 ベースの傾向分析を実行できるようになりました。これにより、特定のビジネスロケーションを組織全体と比較したり、特定の業界と比較したりすることもできます。

Cisco Spaces の **Proximity Reporting** アプリでは、影響を受けるデバイスの位置履歴やデバイス近接履歴をすばやく確認できます。ユーザー ID または MAC アドレスに基づいて、過去 14 日間の建物内におけるデバイスの位置に関するレポートが、他のデバイスとの近接度とともに生成されます。レポートをエクスポートし、**共有機能**を使用して共有することもできます。

Proximity Reporting アプリケーションの詳細については、『[Cisco Spaces Proximity Reporting App Configuration Guide](#)』を参照してください。

同様に、**検出と位置特定**アプリを使用すると、デバイスを特定の数にまとめて、社会的距離のガイドラインに違反している可能性のあるエリアについてチェックし、報告することができます。**検出と位置特定**アプリの詳細については、『[Cisco Spaces Detect and Locate Configuration Guide](#)』 [英語] を参照してください。

Cisco Spaces : **IoT サービス**は、Cisco Spaces 内のプラットフォームサービスで、シスコのワイヤレス インフラストラクチャを使用して IoT デバイスを要求、管理、および監視できます。IoT サービスは、複数のベンダー、フォームファクタ、テクノロジープロトコルにまたがって IoT デバイスを管理できるように設計されています。BLE は、IoT サービスを使用した管理に利用できる業界初の技術です。IoT サービスの詳細については、『[Cisco Spaces IoT Services Configuration Guide](#)』 [英語] を参照してください。

Cisco Spaces では、サードパーティアプリ、つまり**パートナーアプリ**を Cisco Spaces に統合できます。サードパーティアプリは、Cisco Spaces ダッシュボードにパートナーシップアプリとして表示されます。

セットアップや構成を含む、Cisco Spaces の詳細については、『[Cisco Spaces Configuration Guide](#)』 [英語] を参照してください。

Cisco Spaces ライセンスパッケージ

Cisco Spaces は、**See**（基本）、**Act**（高度）、**Extend** という 3 種類のライセンスパッケージで利用できます。アカウントで使用できる機能は、所有する Cisco Spaces ライセンスパッケージのタイプによって異なります。

Cisco Spaces See、Extend、および Act ライセンスに含まれる機能については、『[Cisco Spaces Data Sheet](#)』 [英語] を参照してください。

Cisco Smart Licensing

シスコ スマート ライセンシングは、シスコ ポートフォリオ全体および組織全体でソフトウェアをより簡単かつ迅速に一貫して購入および管理できる柔軟なライセンスモデルです。また、これは安全です。ユーザーがアクセスできるものを制御できます。スマートライセンスを使用すると、次のことが可能になります。

- **簡単なアクティベーション**：スマートライセンスは、組織全体で使用できるソフトウェアライセンスのプールを確立します。PAK（製品アクティベーションキー）は不要です。
- **管理の統合**：My Cisco Entitlements（MCE）は、使いやすいポータルですべてのシスコ製品とサービスの完全なビューを提供します。
- **ライセンスの柔軟性**：ソフトウェアはハードウェアにノードロックされていないため、必要に応じてライセンスを簡単に使用および転送できます。



(注) スマートライセンスを使用するには、まず [Cisco Software Central](#) でスマートアカウントを設定する必要があります。

シスコのライセンスの詳細については、『[Cisco Software Licensing Guide](#)』を参照してください。

Cisco Spaces : 製品の機能

Cisco Spaces ユニファイドロケーションクラウドは、複数のセンサーとプロセスからの入力を取得し、データをフィルタ処理してクレンジングし、このデータに基づいて動作するツールキットを提供します。また、パートナー（独立系ソフトウェアベンダー、エンタープライズソフトウェア、およびビジネス成果を上げるためのソリューションパートナー）がこのデータにアクセスできるようにします。

表 1: その他の利点

可視性 : ビジネスインサイト	拡張 : パートナーサービスへ	処理 : デジタル化ツールキットの活用
動作メトリック 人と資産が自分の資産内でどのように動作するか。	パートナー アプリケーションセンター Cisco Spaces App Center を使用して、業種に重点を置いたロケーションベースのサービスアプリケーションを検出します	キャプティブ ポータル 訪問者を取得して識別し、企業のアイデンティティにマッピングします
位置分析 特定の場所および期間における行動パターンは何か。	Partner Firehose API 信頼性の高い、高品質のロケーション、環境、および訪問者データをパートナーに提供し、ユーザーのプライバシーとデータセキュリティを強力に実施します	ロケーションペルソナ 行動に基づいて訪問者をプロフィールおよびセグメント化します

可視性：ビジネスインサイト	拡張：パートナーサービスへ	処理：デジタル化ツールキットの活用
ベンチマーク 業界や組織とパフォーマンスを比較します	パートナーアプリケーションのモニタリング オンプレミスのパートナーアプリケーションからのロケーションデータをエンドツーエンドでモニタリングします モニタリングおよびサポートダッシュボードにより、パートナーアプリケーションをモニタリングおよびサポートします	エンゲージメント 複数のチャネル（SMS、電子メール、アプリプッシュ、API トリガー、Webex Teams など）を介して訪問者と従業員に通知をトリガーします。
ロケーション階層 ビジネス分類をネットワークインフラストラクチャにマッピングします	ストリーミングデータのエクスポート ビッグデータ、分析、エンタープライズアプリケーションへの取り込みをサポートするように最適化されたカスタマイズ可能なストリーミングエクスポート	資産ロケータ 資産の特定と監視、異常の検出
検出と検索（RSSI） クラウドベースの検出と検索、およびRSSIロケーションコンピューティング Cisco CMX 10を使用したオンプレミスの検出と検索、およびRSSIロケーションコンピューティング	エンタープライズ統合 エンタープライズソフトウェアと統合して、ロケーションデータと関連付けます	検出と検索（詳細） 1. クラウドベースの検出と検索、およびデバイスロケーション履歴によるRSSIロケーションコンピューティング 2. HyperLocationのサポートによるクラウドベースの検出と検索
Right Now（密度トリガーなし） スペース内の人とデバイスの数を監視します	特殊なRTLSアプリケーションのサポート クラウドおよびオンプレミスのFirehose APIを使用した、特殊なパートナーRTLSアプリケーションのサポート	Right Now（密度トリガーあり） スペース内の人数を監視し、密度のしきい値に到達または超過したときに通知を送信します

可視性 : ビジネスインサイト	拡張 : パートナーサービスへ	処理 : デジタル化ツールキットの活用
影響分析 ロケーション動作に対するイベント、キャンペーン、またはレイアウト変更の影響を測定します	Cisco Spaces See 内のすべてを含む	プロキシミティレポート ゾーン、フロア、建物、および他の人との接触があった可能性における健康上の問題の影響を要約します
Cisco Catalyst Center (旧 Cisco DNA Center) 統合 Cisco Spaces と Catalyst Center の間でフロアマップと階層の同期を維持し、IT の使用例のために Catalyst Center にロケーションデータを送信します		屋内 IoT サービス 大規模かつ大幅に低い TCO で IoT デバイスとアプリケーションを導入します。広範な BLE タグ、ビーコン、およびその他のセンサーを導入して使用例を拡大します
カメラメトリック Meraki Video カメラを使用して、リアルタイムの訪問者数の測定値として、足跡の数と履歴の傾向をレポートします。		ハイパーロケーション/FastLocate Cisco Spaces コネクタの使用
OpenRoaming 有線および Wi-Fi ネットワークへのセキュアでシームレスなゲストオンボーディング		Cisco Spaces Extend 内のすべてを含む

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。